

## (有) エフ・エム・シー 環境行動計画

### 取組方針

有限会社エフ・エム・シーは、機械部品を製造・販売しています。また、任意団体エコライフ石川を設立し、自然エネルギーの研究・普及活動を行っています。

当社の事業活動を進めていく中で、環境保全が重要課題の一つであることを認識し、地球環境との調和、地域社会との融和を図りながら進歩・発展していくことを目指していきます。このため、私たちは、事業活動に伴う環境への負荷を少なくするために、以下の取組を社員一丸となって推進します。

- ① エネルギー使用量の削減（電気・灯油）
- ② 資源の有効活用（環境配慮設計、歩留まり向上、材料・潤滑油のリサイクル）
- ③ 製造部門、事務部門における廃棄物の削減
- ④ 自然エネルギーの普及啓発活動
- ⑤ 5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）の徹底

この方針に基づいて社員一人ひとりが自主的に環境保全活動に取り組むため、取組方針と取組目標及び具体的な取組内容を全社員に周知します。

平成23年6月29日

有限会社 エフ・エム・シー

代表取締役 鹿野 朋之

### 3. 環境負荷の低減目標、環境改善及び具体的な取組

24年度に向けての環境負荷の低減目標、環境改善及び具体的な取組は、次のとおりです。(数値的な低減目標についての基準年度は、いずれも22年度です。)

【目標1】二酸化炭素の総排出量(売上高当たり)を2%削減する。

【製造部門での具体的な取組】

- ① 昼休みと休憩時には、使用していない機械の電源を切る。
- ② 休日前には、パソコン等のコンセントを抜く。

【事務・営業部門での具体的な取組】

- ① 事務室の空調温度を適正(冷房時28度、暖房時20度)に設定する。
- ② 人のいない部屋の消灯を徹底する。
- ③ 高効率の照明を導入する。
- ④ ペレットストーブを導入する。
- ⑤ 断熱材の導入で熱効率向上を図る。
- ⑥ ウォームビズの実施で、過度に暖房機器に頼らない。
- ⑦ 社用車の効率的な使用を徹底する。
- ⑧ アイドリングの防止と無駄のないアクセル操作を心がける。
- ⑨ 車の空調温度を適正温度に設定する。

【目標2】廃棄物の適正管理と排出量の削減に努める。

なお、一般廃棄物の排出量については、今後把握方法及び目標値を検討する。

【具体的な取組】

- ① 廃棄物は決められたごみ箱に分別して出す。
- ② シュレッダーの使用は機密書類に限定する。
- ③ ファイル、フォルダーなどは繰り返し使用する。
- ④ 仕入れ・納入にはできるだけ通い箱を使用する
- ⑤ 使用済みの段ボール、梱包材、荷造りひもを分別する。
- ⑥ 新しい製品カタログを受け取るときには、旧版を引き取ってもらう。
- ⑦ 紙のリサイクルに努める。
- ⑧ 製品をできるだけ長期間使用する。

【目標3】コピー用紙の使用量を2%削減する。

【具体的な取組】

- ① 社内資料を印刷する際は、パソコン画面上での確認を励行する。
- ② 社内資料は、両面コピー、縮小コピー、裏面活用に努める。
- ③ 顧客情報等を含まない不要な文書、毀損したコピー用紙の裏面を再利用する。
- ④ コピー機のコピーボタンを押す前に、必ず設定状況を確認しミスコピーの削

減に努める。

- ⑤ 電子メディアの利用によって、ペーパーレス化を推進する。
- ⑥ 会議資料等の削減に努める。

**【目標4】 自然エネルギーの導入を薦める。**

**【具体的な取組】**

- ① 風力発電の導入を検討する。

**【目標5】 社員から環境への取組についての提案を募集する。**

**【具体的な取組】**

- ① 社員による技術提案制度を導入する。

#### **4. 環境行動計画の実施体制**

社長を委員長とする環境活動委員会を設け、四半期ごとに取組目標の進捗状況と具体的な取組の実施状況をチェックします。